

吉野熊野国立公園 黒島園地

決定

区域面積：0.6ha

執行予定：国土交通省、民間

第2種特別地域(国有地、民有地)



既存施設の把握



沖ノ黒島(右)
陸ノ黒島(左)



広場

- 国道42号線に隣接する、恋人岬と呼ばれる景勝地
- 沖ノ黒島の周囲は岩礁地形をなし、高木層はタブ自然林、低層はハカマカズラ、マツバラン（環境省RDB準絶滅危惧種）等の貴重な植物種がみられる
- 陸ノ黒島も同様の自然景観を呈しており、沖ノ黒島と併せてジオサイトに登録されている

既存施設の把握（休憩所、駐車場、広場）

区域面積：0.6ha
国土交通省、民間

黒島茶屋駐車場からの景観



陸ノ黒島

沖ノ黒島

婦夫波

年間利用者数
約1万人



付帯の休憩所・展望台・駐車場
(展望台は再開に向け調整中)



パーゴラ

- 国道42号線利用者の休憩地として利用
- 沖ノ黒島、陸ノ黒島の景観、沖からの海流が陸ノ黒島に当たり真二つに裂け、再び波が一緒になる婦夫波と呼ばれる枯木灘の奇観の好展望地であり、これらを目的に訪れる利用が多い
- 駐車場、休憩所等園地利用者の快適性に資する施設が整備されている

吉野熊野国立公園 江住園地

決定

区域面積：2.0ha

執行予定：和歌山県、すさみ町

第2種特別地域、第3種特別地域(県有地、民有地)

既存施設の把握



江須崎を展望



園路

- すさみ町南東部の海に突き出た江須崎の基部に位置し、国道42号線に隣接
- 江須崎は、隆起海食台からなり、島周辺は海食崖
- シイ自然林、ハカマカズラ、キイセンニンソウ等の植生は、暖地性植物群落として国の天然記念物に指定されている

既存施設の把握 (駐車場、園路、広場、公衆便所)

区域面積：2.0ha

執行予定：和歌山県、すさみ町

年間利用者数
約1,200人



- 現在の主な利用形態は、雄大な枯木灘の風景鑑賞、園路周辺の植物観察等の自然探勝である
- 園路、ベンチ、公衆便所、駐車場等、園地利用の快適性に資する施設が整備されており、安全で快適な利用の増進及び自然保護思想の普及啓発が図られる

吉野熊野国立公園 里野園地

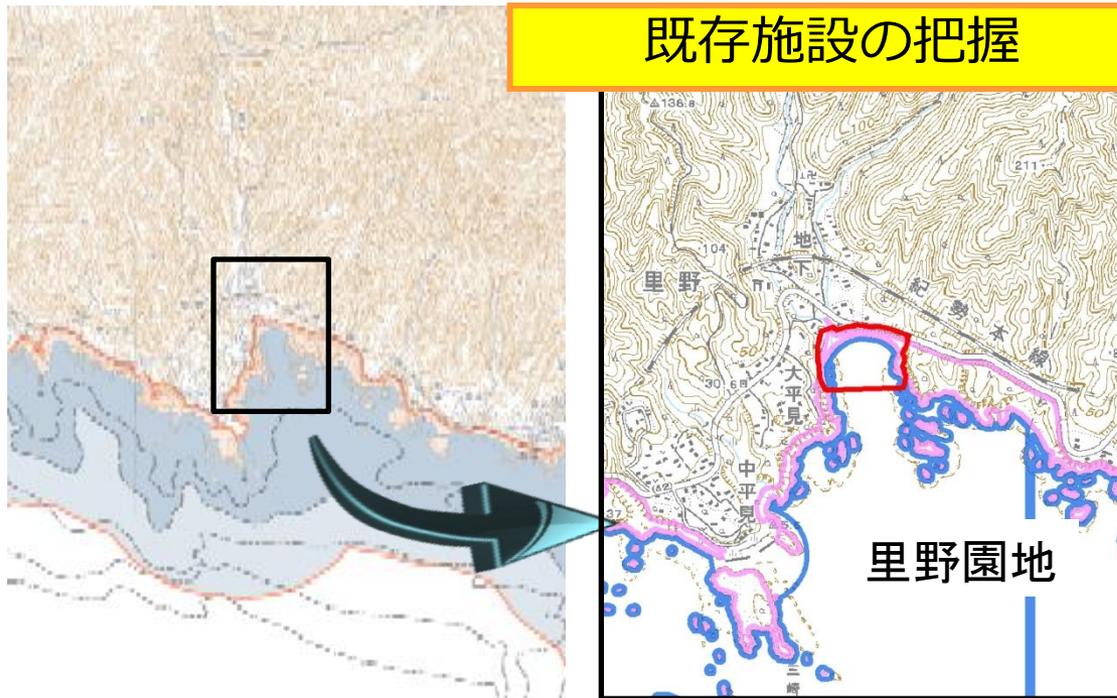
決定

区域面積：5.7ha

執行予定：すさみ町

第2種特別地域、海域公園地区(県有地)

既存施設の把握



- すさみ町と串本町の境界付近の海岸部であり、海水浴に適した砂浜とその周囲に起伏に富んだ岩礁が広がっている
- 海食崖の上にはウバメガシ等の海岸特有の植物群落がみられ、良好な海岸景観を呈している

既存施設の把握

(公衆便所兼シャワー棟、親水護岸)

区域面積：5.7ha

執行予定：すさみ町



公衆便所兼シャワー棟



標識(大辺路)



親水護岸

- 景観鑑賞、海岸の自然散策等の自然探勝、海水浴利用、釣り等の利用
- 海岸の一部が熊野古道大辺路であることから、熊野古道の利用者も多い
- 海水浴客や熊野古道利用の快適性に資する公衆便所兼シャワー棟等の施設が整備されており、安全で快適な利用の増進が図られる

吉野熊野国立公園 双島園地

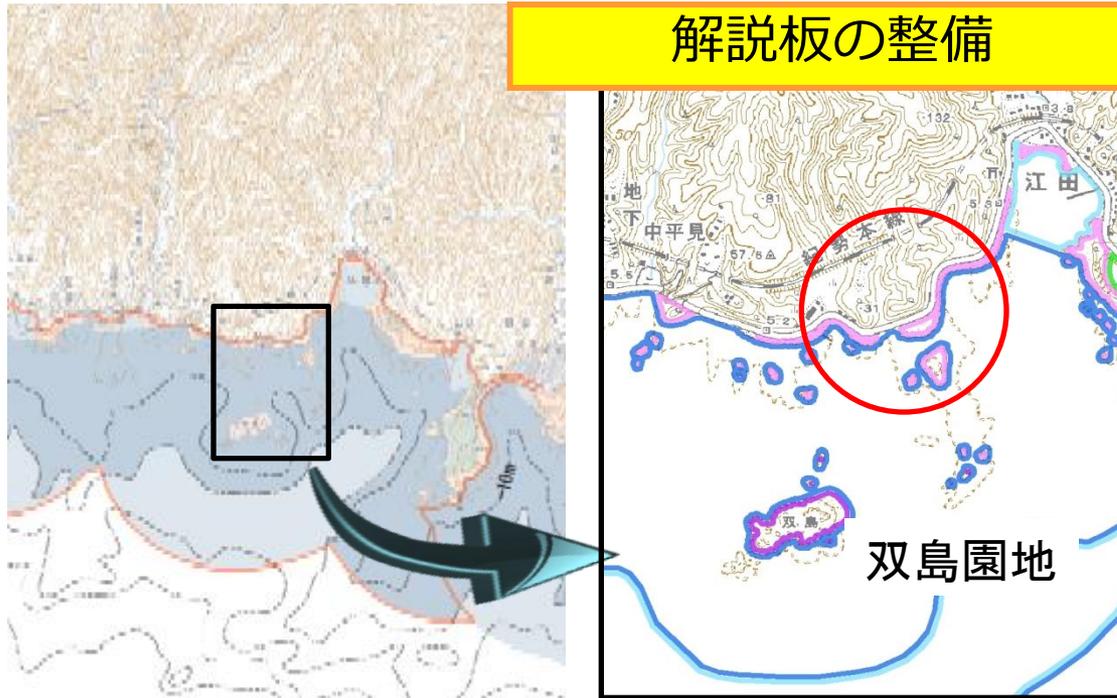
決定

区域面積：0.1ha

執行予定：環境省

第2種特別地域(国有地、民有地)

解説板の整備



- 串本町中心部から西に9kmほど離れた海岸部
- 双島やサラシ首層など、枯木灘に面した雄大な海岸地形が広がっている
- さらし首層や江田海岸はジオサイトにも登録されている
- 景観鑑賞や海岸の自然散策等の自然探勝、釣り等に利用されている

解説板の整備

区域面積：0.1ha

執行予定：環境省



- 双島、サラシ首層、江田海岸周辺等の海岸景観や、熊野古道大辺路の散策等を楽しむために利用されているが、特徴的な地形、景観の成り立ちを解説する標識が不足している
- 標識の整備により、公園利用者の自然環境に対する理解が深まり、自然保護思想の普及啓発が図られる

吉野熊野国立公園 檜野崎園地

決定

区域面積：5.1ha

執行予定：和歌山県、串本町、民間

第1種特別地域、第2種特別地域、普通地域(国有地、県有地、民有地)

既存施設の把握、休憩所の整備



トルコ記念館(串本町)



海岸景観

檜野崎園地

- 紀伊大島の東端に位置
- 流紋岩からなる海食崖地形、それを被う海岸性常緑広葉樹林の優れた海岸景観
- 日本とトルコの友好関係がはじまるきっかけとなった、沿岸海域で難波したトルコ軍艦エルトゥールル号に関する施設が整備

- ・ 既存施設の把握（休憩所・広場・駐車場等）
- ・ 休憩所の整備

区域面積：5.1ha

執行予定：和歌山県、
串本町、民間



- 隣接する近畿自然歩道とともに檜野崎の自然探勝や、地質・歴史学習の場として活用され、串本町の主要観光地点。園地内部を近畿自然歩道が通っている。
- 利用者の休憩や飲食の用に供される施設が不足
- 新たに休憩所を整備することにより、利用快適性の向上、滞在時間の延長、自然・歴史への理解の深化が見込まれる

吉野熊野国立公園 大勝浦園地

決定

区域面積：0.6ha

執行予定：那智勝浦町

第2種特別地域（県有地、民有地）

既存施設の把握



- 那智湾湾口部南に位置する岩礁
- 変化に富んだ海食崖や泥ダイアピルが上昇流動した状況がわかる波食台等、良好な海岸景観であり、ジオサイトにも登録されている。
- 景観鑑賞、海岸の自然散策や釣りの利用が多い

既存施設の把握（歩道）

区域面積：0.6ha

執行予定：那智勝浦町



園路



園路と周辺地形



園路

- 大勝浦、弁天島、お蛇浦周辺の自然探勝のための園地として整備
- 既に園路が整備されており、これを活用することで、安全で快適な利用の増進及び自然保護思想の普及啓発が図られる
- 園路の一部で老朽化が進んでおり、今後の再整備についても検討されている

吉野熊野国立公園

近畿自然歩道道路（歩道）

変更

路線距離：
72km→83km

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域、普通地域（国有地、県有地、町有地、民有地）

執行者：環境省、和歌山県、
すさみ町、民間

文化的景観、自然景観



千里の浜線：千里観音



江須崎線：春日大社



長井坂線：海岸景観



奇絶峡線：河川景観

- 近畿自然歩道の和歌山県地域のうち、紀伊熊野地ふれあいルート及び高野竜神ふれあいルートにあたる区間の一部
- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」にも登録されている熊野古道や、複雑な景観を織りなす海岸、旧街道等を楽しむことができる
- 山間部は、シイ・カシ二次林、ウバメガシ二次林、江須崎の海岸部には暖地性常緑広葉樹林、千里の浜においては、アカウミガメ（環境省RDB絶滅危惧種ⅠB類）やシノリガモ等が見られる